

資料3 別紙

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

令和7年2月13日（木）
教育委員会 学校教育課 学校給食グループ

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

1. 整備方針（計画（案） p7～13「3.整備方針」「4.整備用地の選定」）

- (1) 既存センター統廃合による合理化
- (2) 学校給食衛生管理基準に適合した施設整備
- (3) 建設地の確保
 - 給食継続のため新たに建設地を取得し移転
 - 美保野小中学校跡地（市有地）を選定
- (4) 食物アレルギーへの対応
 - 乳・卵・小麦の食物アレルギーに対応した給食の提供
- (5) 安全・安心でおいしく楽しい給食のための食器具
 - 新センターの食器具は西センターと同等同種で調達
 - 箸を給食センターから提供
- (6) 食育への対応
 - 所管校の児童生徒の見学を想定した見学スペースなどを整備

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

2. 施設計画の検討

(計画（案） p14「5.施設計画の検討」表5-1他)

受配校	原則として、現在の北地区給食センター12校及び東地区給食センター16校とする。
供用開始時期	令和11年度上半期（予定）
献立数・食数	2 献立・6,000食／日
必要諸室	学校給食衛生管理基準等を遵守した上で、標準的なものを設定
アレルギー対応調理室設置	アレルギー対応有
その他	北地区給食センター及び東地区給食センターを廃止

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

3. 新センターの概算事業費の算定条件

(計画（案） p16「6.事業計画」表6-1他)

敷地面積	約 1 0 , 0 0 0 m ²
延床面積	約 3 , 5 0 0 m ²
構 造	鉄骨造二階建

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

4. 新センターの概算事業費（事業期間：15年間）

（計画（案） p16「6.事業計画」表6-2）

	金 額（税抜）
施設整備費	4 6 . 1 億円
運 営 費	4 3 . 3 億円
維持管理費	2 4 . 4 億円
合 計	1 1 3 . 8 億円

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

5. 事業範囲

（計画（案） p19「8.事業範囲」）

（1）新学校給食センター

設計・建設・厨房機器・運営業務・維持管理業務

（2）西地区給食センター

運営業務

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

6. 事業手法の評価・選定

(計画（案） p 20 「9.事業手法の評価・選定」 表9-1)

(1) 定量的評価

財政負担軽減効果 (VFM)	従来	D B O	P F I (B T O) 【民間資金無】	P F I (B T O) 【民間資金有】
	—	△5.8%	△4.5%	△3.7%

P F I : Private Finance Initiative

D B O : Design-Build and Operate

B T O : Build-Transfer and Operate

V F M : Value for Money

「八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について」

6. 事業手法の評価・選定

(計画（案） p20～21 「9.事業手法の評価・選定」 表9-2)

(2) 定性的評価

- ・事業継続の安定性及び財政負担の平準化等の面で、PFI（BTO）【民間資金有】の優位性を確認

(3) 選定方式

- ・本事業は、6,000食/日という大規模な給食の提供を長期にわたり実施する事業であり、SPCの組成により、安定的な事業継続が期待できるPFI（BTO）方式の方がDBO方式に比べ優位
- ・PFI（BTO）方式【民間資金無】の場合、施設整備が完了する時期に、市の財政負担が突出するため、財政負担の平準化が図られるPFI（BTO）方式【民間資金有】が優位
→ **PFI（BTO）【民間資金有】** を選定